

在校生の言葉

宮城学院に差し込む明るい春の光が、希望に満ちた新入生の皆さんを一段と輝かし、まるで皆様のご入学を喜んでいるかのようです。この良き日に、宮城学院中学校・高等学校にご入学される皆様、本日は誠にありがとうございます。保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

さて、新しい制服に身を包んだ皆様の胸の内は、きっと、これから始まる宮城学院での新たな生活への大きな期待と、同じくらいの不安な気持ちで溢れていることと思います。私も二年前、今皆様が座っている場所で、同じような気持ちを胸に、先輩からの歓迎のお言葉を頂戴したことを今でも鮮明に覚えています。当時のことを思い出しますと、本当にあっという間に時間は過ぎていったとしみじみと感じております。中学一年生の皆様にとっては六年間、高校一年生の皆様にとっては三年間という宮城学院での生活が、皆様にとって、より充実したものとなるように、本日は、皆様に本校の魅力をお伝えしたいと思います。

宮城学院には、運動会や文化祭、クリスマス礼拝など、中学生と高校生が合同で行われる行事がたくさんあります。毎年夏休み明けに行われる文化祭は、二日間に渡って開催されます。一日目は宮城学院生のみで、そして二日目は一般公開といって、お客様をお招きして行われます。数カ月前から、文化行事実行委員会を中心に、各団体ごと様々な催し物を企画します。毎年一〇〇〇人ほどの方々が足を運んでくださるため、大変盛り上がります。また、文化祭が終わった後に高校生のみで行われる後日祭も、宮城学院ならではのものでとても魅力的です。

そして、十二月には最も力を入れている行事、クリスマス礼拝が行われています。ハンドベルクワイアによる美しい前奏から始まり、中学宗教委員会が演じる降誕劇、中高各学年による賛美、そして、全校生徒で歌いあげる、ハレルヤで締めくくられます。この行事は、キリスト教にも続く宮城学院ならではの行事です。

また、中高合同での行事の他に、中学生、高校生、それぞれで行う行事もあります。中学生ならではの行事として、十月に行われる合唱コンクールがあります。合唱コンクールとは、各クラスで課題曲を決め、約一カ月前から本番に向かって練習に励み、クラス一丸となり曲を作り上げる行事です。時には仲間とぶつかり合うこともあるかもしれませんが、ですが、クラス全員で完成させるその一曲に個々の様々な思いを込め、本番で歌いきったときの達成感は忘れることなく、皆様にとって最高の思い出として刻まれることでしょう。

高校ならではの行事としては、十月に行われるスポーツ大会があります。スポーツ大会では、各学年ごと決められた種目で勝利を目指します。スポーツ大会は仲間と一致団結して戦います。そのため、チーム内の絆はもちろんのこと、クラスでの絆がより一層深まります。このように皆が励まし合い、全力で勝利を目指す、素晴らしい行事です。

魅力が詰まった宮城学院は、今年一三四年を迎えます。このような記念すべき年にご入学される皆様に私は聖書の御言葉の一つを贈りたいと思います。マタイによる福音書第七章

七節～八節「求めなさい、そうすれば与えられる。探しなさい、そうすれば見つかる。門をたたきなさい、そうすれば開かれる。誰でも求めるものは受け、探すものは見つけ、門をたたくものには開かれる。」という聖句です。私は昨年十月に生徒会執行部に入りました。学校全体のことを考える重役を、果たして私が担うことができるのかとても不安でしたが、友人の支えもあり、立候補いたしました。この出来事がきっかけで、今では様々なことに自ら挑戦できています。ですから皆様には失敗を恐れず、周囲の目を気にせず、そしてなにより自分の気持ちを大切に、何事にも挑戦してほしいと思います。きっと皆様が踏み出した大きな一歩はこれからの糧になるはずです。また、困ったことや不安に感じたこと、そして学習面で心配なことがあれば、私たちや先生方に相談してみてください。宮城学院の先生方が親身になって相談に乗ってくださいます。とても親しみやすい先生方ばかりなので、安心して学校生活を送ることができます。

在校生一同、皆様が宮城学院で素晴らしい時間を過ごすことができますよう心からお祈り申し上げ、歓迎の言葉とさせていただきます。

2020年4月

宮城学院中学校高等学校 在校生代表 北村莉子